

# よこはま 森の助っターズ のご紹介



登録はこちら

## よこはま森の助っターズとは…

横浜市では、森づくりボランティア活動に参加したい個人のボランティアの方と日頃森づくり活動を行っていただいているボランティア団体とを繋ぐ取り組みとして「よこはま森の助っターズ」という取り組みを行っています。

団体の方は作業のお手伝いの担い手募集や新規メンバーの獲得の機会としていただくことができます。個人の方は、自身の興味のある活動に様々な活動場所で活動を行うことができます。お知らせはメーリングリスト morinews で参加募集のお知らせを配信しています。

横浜市メーリングリスト morinews - よこはまの森ニュースレター

これを機会にぜひ一度、ご参加ください！ ※ご参加には横浜市のボランティア登録が必要です。

## 団体が主催するイベントのお手伝いに 初めて助っターズが出動しました！

### 鴨居原市民の森 実施報告

コロナ禍で開催を止めていたそうめん流し大会が鴨居原市民の森で4年ぶりに開催されました。鴨居原市民の森では愛護会の高齢化が進み、新しいボランティアの成り手を探していました。そんな中、今回、「よこはま森の助っターズ」としてお手伝いに来ていただくボランティアを橋渡しさせていただきました。

昨年度始まった「よこはま森の助っターズ」はこれまで草刈りや間伐といった森づくり作業でボランティア活動をしていただいておりますが、今回初めて実施したそうめん流し大会のお手伝いのようにイベントでの出動もできますので、団体の皆様も個人ボランティアの皆様もぜひご検討・ご参加ください。

<b>実施日</b>	令和6年8月3日(土)	<b>活動内容</b>	市民の森で間伐した竹を使ったそうめん流し大会のイベント当日のお手伝いとして、そうめんの流し係、イベントに来た子供達との昔遊びのスタッフとしてボランティア活動をしていただきました。
------------	-------------	-------------	---

そうめん流しのレーンの準備



そうめん流しのお手伝い



そうめん流しを楽しむ参加者の皆さん



イベントに来た子供達に昔遊び体験として、トントン相撲の遊び相手のお手伝いをしました。

子供達との昔遊びのお手伝い



愛護会の皆さんが用意した半割の竹のレーンにそうめんを等間隔で流します。箸置きもここで間伐した竹を使って作ったものです。当日は地域から約150人の参加者が来場されました。



# よこはまの森 ニュースレター No.122



森づくりを担う人材の育成事業の財源の一部に横浜みどり税を活用しています。

横浜市みどり環境局環境活動事業課  
〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10  
TEL 045-671-2624 FAX 045-550-4554

よこはまの森  
ニュースレター HP



## 森づくりボランティア 体験会・研修・講習会のご案内

森づくり活動に関わる皆様に、森づくりの活動スキルなどを学ぶ研修や体験会を開催します。

対象者 **ボ** 森づくりボランティアの方 **般** 一般の方  
**団** 森づくり活動団体の方 \*森づくりボランティア登録をしていない一般市民の方

**よこはま森の助っターズ**

日時	場所
令和6年10月26日(土) 9:00～12:00	瀬上市民の森(栄区)
令和6年11月17日(日) 9:00～12:00	上矢部ふれあいの樹林(戸塚区)

**ボ 団** 森づくり活動団体の活動をお手伝いいただきます。草刈りや間伐など作業内容は様々。森づくりボランティア登録者が対象です。

**森づくり塾(大学生限定講座)**

日時	場所
令和6年11月16日(土) 9:30～15:30	新治市民の森(緑区)
11月23日(土)	

**ボ 団 般** 大学生等対象。横浜市の森づくりに関する知識、技術、心得を習得できる2日間の講座です。1日目は、座学と地元の方によるガイドツアーで学びます。2日目は、森づくりの実践として、森づくり作業を体験します。

**森づくり体験会(初級編)**

日時	場所
令和6年12月7日(土) 9:00～12:00	寺家ふるさとの森(青葉区)

**ボ 団 般** 木や竹の伐倒作業や落ち葉かきなどの森づくり作業を体験します。初めて体験会に参加される方、体験会や森づくり活動の経験の浅い方向けの体験会です。12月は寺家ふるさとの森で親子の参加も可能とした体験会を実施予定です。

**作業研修**

日時	場所
令和6年12月14日(土)	環境活動支援センター(保土ヶ谷区)

**団** 作業前の準備や安全への配慮、道具の正しい安全な使い方や作業方法などについて、実習を通じて学びます。竹の伐採から、発生材の処理の仕方についての研修(実技を含む)を予定しています。

**間伐材マネジメント研修**

日時	場所
2～3月開催予定	詳細は環境活動支援センターから届くチラシをご確認ください

**団** 森づくり活動で発生する間伐材の有効な活用方法を学びます。今年度は、竹の発生材を活用したクラフトを予定しています。

最新の情報はホームページでお知らせしますので、ご確認の上、お申し込みをお願い致します。

横浜市 森づくり研修

# 竹の種類と活用方法を紹介します



横浜市内の竹林面積は約 229ha で、神奈川県内の竹林の約 1/3 を占めています。市内の竹はモウソウチクが主でマダケ、ハチクも見られます。竹林を含む市民の森や公園の愛護会や森づくり活動団体も増えており、竹林の管理作業にご協力いただいている団体の皆様も多くいらっしゃいます。そこで、今回は主な竹の種類と竹の活用方法の事例を紹介します。

## 竹の種類



節が1重に見えるのが孟宗竹、2重に見えるのが真竹だよ



### モウソウチク (孟宗竹)

高さ 22m になる大型種で、日本の自生種ではなく、江戸時代に食用とするため中国から導入されたもの。材質は、弾力性に欠け、建築や農業用資材として利用されているが、かごなどの編組には向かない。

### マダケ (真竹)

高さ 20m になる大型種で、材質は、弾力性があるなど優れており、建築や竹細工に利用されている。竹の皮には黒褐色の斑点があり、無毛で、きれいな皮なので、食料品等の包装に使われてきた。

### ハチク (淡竹)

高さ 15m 程の大型種で、耐寒性があるため、比較的寒い地域にも生育している。節には環が2つあり、細く割りやすいという材質から、茶筌などの茶道具に利用されている。

## 竹の活用法

竹の活用法というと簾や竹箒などの日用雑貨や、竹籠などの竹細工をイメージされる方が多いのではないのでしょうか。今回は団体のイベントに活用できる事例やちょっと変わった竹の活用法を紹介します。



### 竹灯籠祭りの竹灯籠

切り出した竹に電動ドリル等で穴をあけ模様を付けたり、絵を描いたりして、蝋燭を入れ、灯籠にします。

令和 6 年 11 月 9 日(土)には、小机城址市民の森で、森づくり活動団体の日本の竹ファンクラブ主催の竹灯籠祭り(本市後援)も開催されます。竹林の中で竹灯籠の灯りが揺らめく幽玄の世界に足を運んでみてはいかがでしょうか。



### 竹から作る洗濯用洗剤

原材料は竹炭、竹炭灰、湧水のみ。洗剤に含まれるアルカリ成分が皮脂汚れなどの脂肪酸と結合して石鹸になることで汚れが分解されるといいます。竹で作る環境にやさしい洗剤です。



### 竹のバッグ

竹の、軽くてしなりがあり、丈夫な性質を利用して、竹ヒゴを編んで作るバッグです。経年変化で長年愛用していくと銑色に変化していくのも魅力の一つです。

※市民の森、公園等の緑地では、筍や竹等の採取は愛護会や森づくり活動団体が活動の一環として活用する場合に許可している行為のため、個人での採取は禁止されています。

# 草木染めに挑戦してみよう!

天然の植物を植物染料として染める方法を草木染といいます。植物が豊富な日本では、花や葉、枝、根などを使って、さまざまな草木染めを楽しむことができます。化学染料の色素は均一な形状をしていますが、植物の色素は大きさや形、色が違い、光の当たる角度によって色合いに変化が生まれ、深みを感じやすくなります。ムラや濃淡など、独特の色味や風合いを楽しめるのが草木染めの大きな魅力です。

今回は身近で手に入る植物の材料として、桜の葉を使った草木染めの方法を紹介します。団体のイベント等でのプログラム作りの参考にしてみてください。

※市民の森、ふれあいの樹林での個人的な採取は禁止されています。

## 桜の草木染めの方法

- ① 集めた落ち葉を水洗いし、水に浸して葉から茶色の色素を抜く
- ② 鍋に鍋の大きさの1/3から半分量の落ち葉を入れ、水で煮出し、沸騰した後30分煮込む
- ③ 葉を取り出して漉し、1 番液は捨てる(1 番液を使うと茶系のくすみが出る)
- ④ ぬるま湯にソーダ灰(または重曹)を1g/Lの割合で加えて沸騰させ、20 分程煮出す
- ⑤ 濾した液に酢酸(または食酢)を数滴加える
- ⑥ 染める布などはあらかじめ糊や汚れを落とし、ぬるま湯に浸しておく
- ⑦ ④を繰り返し、5、6回まで煮出した液と布を鍋に入れ20分程煮染めし、冷めてから水洗いし干す



★ピンク色に染めたい時は 1、2 日放置した液を使いましょう

★すぐに煮出すとオレンジ系になります

★煮出す回数と混合液の組み合わせで濃さが変わります

左からコブナグサ、ビワ、カワツサクラ(1、2 回)、カワツザクラ(3、4 回)

## 間伐材チップ化支援

横浜市では団体向けに発生材のチップ化支援も行っています。チップターの貸し出しをご希望の団体はぜひご相談ください。

相談先:環境活動支援センター (045-711-0635)

## アドバイザー派遣

竹の管理方法や竹を始め間伐材の活用方法などアドバイスが欲しいという団体の皆様は専門家(アドバイザー)の派遣も行っていますので一度ぜひご検討ください。

相談先:環境活動事業課 (045-671-2624)

## タケとササ

タケとササの名前の由来には諸説ありますが、現在の分類では筍が成長したときにそれを覆っていた皮がすぐに落ちてしまうものをタケ、皮がいつまでも残っているものをササと分類しています。小型のタケであるオカメザサのように、名前と分類が合わないものも多くあります。



### 竹のハンガー

切った真竹を蝋燭で炙り、曲げ、針金を取り付けることで手作りハンガーになります。誰でも簡単にできます。切る竹は秋から冬に切ったものを使いましょう。



### 竹肥料

竹を破碎してチップ化したものを発酵させて農作物の堆肥にすることができます。生竹の炭素 / 窒素比(C/N 比)は高く、そのまま土壌にすき込むと著しい窒素飢餓が起こるため注意が必要です。堆積させることで C/N 比が低下します。鶏糞等の他の動物性堆肥等と混合して使用するのがよいといわれています。畑などにすき込むことで、微生物が増えて土壌が肥沃になります。竹自体のミネラルやケイ酸を含んだ土に仕上がることや土壌の保水性・透水性の向上の効果があります。